

会 議 録

会議の名称	令和３年度 第１回東秩父村地域公共交通活性化協議会分科会
開 催 日 時	令和３年５月１３日（木）１３：３０～１６：００
開 催 場 所	東秩父村役場 ２階 新会議室
出 席 者	別紙のとおり
問い合わせ先	企画財政課 岩 田 浩 興 電話番号 ０４９３－８２－１２５４（直通）
会 議 記 録	発言記録 ・ 要約
議事内容	１．開 会 （東秩父村企画財政課長 眞下） ２．会長あいさつ （東秩父村地域公共交通活性化協議会 笹沼 会長） ３．自 己 紹 介 ４．協 議 事 項 （１）東秩父村地域公共交通活性化協議会（分科会）について（１０分） ○事務局より分科会設置の趣旨や協議内容について説明。 ➡特に意見なし （２）路線バス・空白地有償運送の課題等検討について ① 路線バス・空白地有償運送の意見交換（４０分） ○事務局よりイーグルバス株式会社とふれあいやまびこ会に 現状と課題等について、報告をお願いする。その後、自由に 意見交換などを行う。（以下内容） 【イーグルバスの現状・課題】（イーグルバス株式会社 堀米氏） ○<u>近年乗降客人数は横ばいで推移</u> 平日は、小学生の通学が中心。土日はハイキング客が多く、外客がメインとなっている。コロナの影響により減少した利用者数は、今後、戻っても８割と想定している。 ○<u>小川町内での利用も多く、小川町駅側からは２～３キロ内の利用が多い。</u> 寄居方面は村営バスを引き継いで以後、便数は減便している。路線の再編を行った結果、和紙の里・小川町方面は増加したが、その他は減少している。以前は安戸～皆谷までの区間が１時間～１時間半に１本運行していたが、本数が減少したことで利用しづらくなったとの声もある。

○村民の利用が少ないため、公的支援も検討必要

利用促進だけでなく、収支のバランス維持も必要。新規利用者、外客利用者増加で収支を改善していく取組が今後の課題の一つとなっている。

○乗務員の不足

最近では、ときがわ町西側の地域は乗合タクシーにシフトする例など、バスを運行したくても、運転をする乗務員が不足していることが課題となっている。

○バスの老朽化

近年バスが老朽化しており、費用もかかっているため、その点についても留意していただきたい。

【やまびこ会の現状、課題】（NPO ふれあいやまびこ会 白石氏、高野氏）

○利用者の減少

東秩父村は高齢化が進んでいるが、利用者は減少傾向。原因は施設入所等など考えられる。

○運転手の不足

利用者が増えた場合、運転手が不足する。新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少しており、運転手の数も抑えているため運行の配分が難しくなっている。今後、やまびこ会の事業を拡充する必要がある場合は、運転手の確保が課題となる。

<イーグルバス・やまびこ会への質問・意見等>

（Q は質問 ➡ は回答 △ は意見等）

Q バスとやまびこ会両方使っている人はいるのか。

➡ やまびこ会の利用者でバスを利用する人は少ない。

1 人の利用時はバスで、2 人の利用時はやまびこ会という人もいる。

用事が終わり、自宅へ帰る際に和紙の里から自宅までやまびこ会を利用する人はいる。

Q ワゴンなどで、和紙の里から若い人も送迎することはできるか。

➡ 現状の制度として 65 歳未満の方は自宅から和紙の里まで、もしくは、和紙の里から自宅までならやまびこ会を利用できる制度があるが、村外を目的地としての利用は原則 65 歳以上からとなっている。

また、有償運送は利用時間等バラバラなので、時間を合わせ、乗合ってもらう調整が難しいため、今後の課題となる。

Q やまびこの現状の利用状況については

➡ 自宅玄関までの送迎が一般的な利用。

利用者は乗り換えが大変であり、行きはバスを利用し、買い物帰りはバスまで荷物を運べないため、帰りだけ利用する人もいる。

安戸地区の利用が多く、皆谷地区からの利用はまばらとなっている。

大内沢からは寄居への利用はあり、バス再編前よりは増加している傾向。

バスが利用できる人はバスを利用するが、バスへの乗降が困難なため、やまびこ会を利用する人もいる。

Q やまびこ会有償運送利用登録者数は

➡登録者数は、福祉運送 91 人、空白地運送 254 人（令和元年度延べ人数）
福祉運送は、登録者数は少ないが、利用頻度は多い。
病院や買い物などの定期的な利用が多い。

△路線バスの運行は決まったところが前提。やまびこ会のサービスをどう組み合わせるか。和紙の里から多少はお互い連携ができないか考えていければ。

△ワゴン車など導入することで、バスとの連携とイメージをつけてしまえば。

△バスと有償運送の間くらい交通モードが導入できれば。

△今後、やまびこ会にも普通車ではなく、大型のワゴン車など運転できる人が必要となってくると想定される。

△土日はハイカーなどを考慮し、大型車両を運行し、平日は、11人以上をバスというが、バスである必要はないので、極論、平日は和紙の里にやまびこ会が常駐し、自宅まで送るなどでもよいのでは。

△以前は路線バス、空白地・福祉有償と役割分担をし、運行していたが、今は総力戦になっている。協働するところは協働するようになっている。現状、まだそこまで切迫していないが、村内においては、現在タクシー業者はないし、バスとやまびこ会それぞれ頑張っているが、どちらかに限界がきた時点で崩壊するため、何らかの交通体系は維持・確保いなければならない。

【①まとめ イーグルバスとやまびこ会の連携としての方向性の案など】

※以下2つの案については検討を継続する。

案1 やまびこ会の車をワゴン等大型車にし、バスと連携させる。

○バスとやまびこ会有償運送の中間程度の交通モードの運用を目指し、利便性を向上させる。

（課題）

- ・ 中型～大型車（ワゴン車など）を運転できる人が必要
- ・ ワゴン車購入等の費用など

（以下分科会後、議事録にて一部追記）

- ・ バス路線再編の検証時にデマンド運行の実証運行をしたが、大内沢や皆谷等狭い道幅がある箇所があり、山奥への運転が大変だった。また、一か月間運行したが、1日あたりの最大利用者が13名で、利用人数0人が12日程度あったことなどから、満足度は90%以上と高かったものの導入は当時見送っているため、運行ルートを十分に検討する必要がある。

案2 土日は大型車両で送迎し、平日は和紙の里に待機して家まで送迎する。

（課題）

- ・ 良い時期は平日もハイカーが多く、やまびこ会の現在の車だと乗り切れない。
- ・ ハイエースなどの中型車などが必要になる。
→オンシーズンはバスも想定しておけば良い。

（以前はハイカーのためバス2台運行していることもある。台風で通行止めになり、昨年からのコロナの影響でここ2年はそのような状況はない。）

②事業スケジュールの検討（Qは質問 ➡は回答 △は意見等）

○事務局より、「東秩父村地域公共交通計画」の概要版と計画本文P43の計画スケジュールを示し、事業スケジュールの検討・確認などご意見を願います。（以下内容）

<バスの時刻表について>

（現状）

○再編実施計画作成の際に時刻表の冊子を作成し、村民に配布した。それ以降は、時刻の変更があった際はホームページや広報で周知。マイ時刻表の作成・配布を行っているが利用実績はほぼない。

（質問・ご意見等）

△時刻表をもらってもわからない人が多い。どのように周知をするのかが引っかかっている。ある路線の、ある部分の時刻表として配布するのか、そのあたりを検討していかないと実行しても意味がない。どの自治体・交通事業者等も苦労しているので、時刻表の配布は、今後の方針が定まってから配布する方がよい。

Q バスロケーションの導入はどうか。

➡バスがどこを走っているかの確認ができ、台風等の情報もあるが、現状利用者が少ない。

<今後の計画実施・スケジュールについて>

（現状）

○バスターミナルの維持や小学校スクールバス運行などは今後も実施。計画に記載した検討・実施事業について、今度優先順位をつけて進めていければと考えている。

（質問・ご意見等）

△計画はバスの再編や見直しで、やまびこ会とどう連携するか記載がないため計画に記載はないが、路線バスのところにもう1個追加しておけばいい。「路線バス持続のための方策を探る」を追加する。

Q 事業検討・実施決定も分科会で行うことになるのか

➡分科会で検討した内容等を地域公共交通活性化協議会で報告することや提案し、協議会の承認等をもって事業を推進していくこととなる。

△まずは、東秩父路線バスを運行しているイーグルバスの路線検討や、それにやまびこ会がどう連携していくか。段階づけて計画する必要がある。

△路線バスの便数調整というものもあるが、その部分をやまびこ会に補ってもらうというものもある。

△将来的には、自動運転も含めてみておかないといけない。そのあたりも含めて、中期的なスケジュールでやってもいいかなと、そうすれば公共交通の維持が可能になっていく。

△やまびこ会の連携は、やると決まってから実施まで時間がかかる。体制をつくらないとなので。

<運賃制度と高齢者への対応>

(現状)

村では、現状、交通の補助制度や免許返納者への対応で高齢者向けのものはないため、運賃制度の検討と併せて検討していく必要がある。

(質問・ご意見等)

△白石方面は以前よりも運賃を若干あげている、頻度が低い人は高く、頻度が多い人は安くしていくのもある。運賃の見直しは検討していかなければならないこと。

△協議会運賃にしてしまえばできる。村内は安く、村外は高くなど。ダイナミックプライシングもやっていい方向になっている

△逆に、運賃については、村民は有料、観光客は無料などの自治体もある。

△定期が一番混んでいるときが安い。需要があるときは高くしていいはず。客によったサービスはなくしてもいい傾向もある。

△やまびこ会登録会員のバス優遇も検討できるのではないかな。

Q 今の路線バス運賃収入は？

→年間約 20,000 千円程度となっている。

△事務局主導よりも、各委員がここでの意見をもちかえり、色々内部で議論してもらってこちらでまた報告してもらったほうがよい。方向性が決まったら、事務局に進めていただくことになる。免許返納の対応は、村として何かやりたいとしたら、すぐに行ってもよいのではないかな。

△有償運送利用チケットやバスチケットを配るなどの事業についても、そこは分科会に報告でも、分科会で検討してもよい。

△大きく、運賃制度を変える場合は、関係する近隣自治体との調整も必要となるケースがある。

【②まとめ】

<今後の計画実施・スケジュールについて>

○やまびこ会と連携し山間部をどう補うかを考えていく。

→やまびこ会の連携は体制整備が必要なので、方向性決定後、実施までは時間がかかることを考慮する。

○将来的には、自動運転も含めて検討する必要がある。

→公共交通の維持が可能に。

<運賃制度と高齢者への対応>※以下2つの案については検討を継続する。

案1 協議会運賃にして、村内は安く、村外は高く設定する方法。

(平日料金無料でも、利用者ゼロよりはいい。)

ダイナミックプライシングの実施→需要があるときは高く設定。

(逆に観光客が無料、村民が有料という方法もあり)

案2 やまびこ会の会員にバス優遇を検討。

免許返納者にバスチケットややまびこ会チケットを配布。等

懸案事項 運賃を変更した際、小川町や寄居町との調整が必要となる。

<今後の分科会進行方針>

分科会で出た意見を各委員が持ち帰り、内部で協議していただき次回の分科会で報告してもらう。データの収集等を事務局が行う。計画実施の方向性が決まったら、実施に向けて事務局が進めていく。

<次回まで行う事>

1. やまびこ会利用者の把握

やまびこ会から利用者の住所データをもらい、バス停や県道からどの程度距離があるのかをマップで把握し、利用状況を分析する。

(提供をお願いするデータ)

- ・有償運送の利用者住所・年齢など（個人名除く）
- ・有償運送の利用者運行ルート（乗車地から目的地まで）
- ・有償運送の利用者の利用回数
- ・有償運送の利用者利用目的（買い物や通院） 等

2. バスの利用状況の把握

イーグルバスで把握できている範囲で、村内の利用状況を提供してもらう。
村内の収益等の算出は難しいため、わかる範囲で分科会に情報共有を行う。

<協議会への報告>

○分科会の設置目的と実施の内容について、協議会に報告。

（協議内容の決定権は協議会にあることを周知）

○協議会の開催前に、分科会議事録と協議会の資料を分科会の委員に確認する。

5.その他

（次回、分科会については、時期にこだわらず必要に応じて、各委員に個別にご意見をお願いしたり、文書等でも協議を行う。）

6.閉 会（東秩父村企画財政課長 眞下）